

扇小レポート 857 手当

保健室の廊下に、貼ってありました。保健ニュースです。
正しい手当をしてから ばんそうこうをはろう と書いてあります。
正しい手当について、よく読んでおいてもらいたいです。

少年写真新聞
Juniors' Visual Journal
http://www.shotoopress.co.jp/

小学保健ニュース

No. 1434
発行日 9月28日号

正しい手当をしてからばんそうこうをはろう

傷を悪化させないため、ばんそうこうをはった後も、傷口を清潔に保ちましょう



傷を流水で洗う



けがをしたところについた
よごれを洗い流します。

止血する



清潔なハンカチなどで傷を
強くおさえて止血します。

ばんそうこうをはる



傷の大ききよりも少し大きい
ばんそうこうをはります。

こまめに取りかえよう



ばんそうこうがよごれたり、入浴後などに
はがれたときには、取りかえましょう。

はった後、傷口が乾燥し、痛みを軽減したりする働きがあります。最近では、水印のばんそうこうのように傷の周りを貼るものもあります。

すり傷や切り傷ができたときは、傷口から細菌が入ったり、こすれて傷が痛んだりすることを防ぐため、ばんそうこうをはります。

傷を洗わないままばんそうこうをはったり、数日はそのままにしたりすると、傷口から細菌が入り、傷が悪化することがあります。

また、ばんそうこうをはった後は、傷をきれいに治せるように、必要に応じて取りかえることも大切です。

さまざまなサイズや形があるので、傷の大きさやけがの場所に合わせて選びましょう。

ケガをするのは、しょうがないこと。その後が、大事ですね。